

道しるべ

高等部1年 I期校内実習を終えて

6月3日（金）～6月14日（金）の10日間、高等部1年生は初めての实習に臨みました。作業内容はポリパック（フルーツネット）を5枚一組にして輪ゴムで束ねるもの、製菓袋の中央に商品名のシールを貼るもの、園芸作業で使った育苗用のポットやトレー洗浄等に取り組みました。

高等部に入学し、初めての实習ということで①あいさつ・言葉づかい・態度 ②集中・やりきる ③仲間・協力 この3つのことを“知る”“目指す”ことを目標としました。実習を終えてからの事後学習では、生徒から「始めは無理だと思ったけど、最後までできて自信がもてた。」「こまかい仕事には向いていないと思っていたが、実は得意だった。」「働き続けるために、もっと体力が必要だと分かった。」等、たくさんの気づきの言葉が聞かれました。

また、山積みになった資材が徐々に無くなり、納品した際は仕事に対する達成感を感じ、働く喜びを実感していました。

10日間と限られた期間でしたが、たくさんの気づきと成長を得ることができました。



中学部I期作業学習パワーアップ週間

5月28日から6月3日の5日間でパワーアップ週間を行いました。

朝の全体会で毎日復唱する「中学部作業学習5箇条」には、将来働くために必要な力が書かれており、各作業班での活動において常に意識して作業に臨みました。

また、1年生は「挑戦」、2年生は「自分から動く」、3年生は「リーダー」を学年のテーマとして頑張りました。1年生は、初めてのパワーアップ週間でしたが、先輩たちの姿を見ながら挑戦し、できることが増えました。2年生は、今までの経験を生かして、自分で考えて動けるようになってきました。3年生はリーダーとして、自分のことだけでなく後輩たちに教えたり、言葉を掛けたりしながら作業をする姿が見られました。

一人一人に成長が見られた5日間となりました。

中学部作業学習五箇条

- 1 あいさつ・返事・丁寧な言葉遣いをする
- 2 身だしなみをと整える
- 3 時間を守る
- 4 集中して最後まで仕事をする。
- 5 素直な態度



木工班 マグネット作り



陶芸班 おともだちマグネット作り



手芸班 あづま袋作り



農園芸班 ネギの苗植え

高等部2年 I期 校内・現場実習

6月3日(月)から14日(金)までの2週間、校内・現場実習を行いました。自分の目指す姿や社会人の生活、働くために必要な力について考えながら、一人一人が目標をもって実習に臨みました。

働き続けるためには、疲れを残さない余暇の過ごし方を考えることや、体調管理に務めることがとても大切です。午後の時間帯になると集中力に欠け、仕事量が落ちてしまったり、連日の仕事に徐々に疲れが見られたりなど課題も見られましたが、実習を経験したことで、睡眠時間の確保や食事の大切さに改めて気付いた生徒もいました。

実習全体を通して、日々の生活で実践できていることは、実習でも成果として表れています。一方、学校生活で実践できていないことは、実習先からの評価でも課題に挙げられることが多かったです。

今回、たくさんの企業と福祉事業所の協力を得て実習を行い、生徒の頑張りに対してもありがたい言葉をたくさんいただきました。短期間でしたが、社会に出て、生徒自身が「働く喜び」や「難しさ、大変さ」を実感した貴重な機会になりました。



卒業生の就労の様子

<R5年度卒 由利本荘市 製造業 清掃業務 男性>

- ・在学中から製造業の企業への就職を希望しており、複数の実習を経験し、高等部3年の実習を経て就職した。
- ・製造オペレーターを目指しているが、企業の方針により卒業直後は職業生活に慣れるために、社内外の清掃業務担当での採用となった。将来的にはオペレーター業務を担う予定となっている。
- ・最初の一週間程度は、社員とペアになって清掃を行っていたが、業務を理解してからは単独で業務を任されている。

<R5年度卒業 由利本荘市 小売業 女性>

- ・由利本荘市内の製造業、縫製業での実習を経験し、高等部3年の実習を経て就職した。
- ・複数の業務を行っており、内容によっては勤務の時間帯が違うこともある。

<R4年度卒 にかほ市 製造業 塗装業務 男性>

- ・在学中に複数の業種の実習を経験し、高等部3年の実習を経て就職した。卒業後はグループホームを利用している。
- ・業務遂行に関しての不安が大きい時期があったが、Eサポート(就業・生活支援センター)や学校の支援、定期通院等